



太田川河川事務所

# ゴギ GoGi通信

No. **108**



太田川 ←

広島市佐伯区湯来町

## 床上浸水対策特別緊急事業 小原地区の堤防が 6月に完成しました

太田川河川事務所では、平成17年9月の台風14号によって床上浸水および要援護者支援施設（病院、老人ホーム等）の浸水被害が沿川で発生した箇所を中心に、築堤等の改修事業に取り組んでいます。

事業の実施については、再度災害の防止を図るとともに、環境や生態系に十分配慮した整備を計画し、中・上流域の計18か所において、平成19年度より工事を進めております。

写真の小原地区（広島市佐伯区湯来町小原地先Ⅱ浸水家屋4戸）は、太田川の下流に向かって右岸に総延長約650mの連続堤で、平成20年11月から本格的に工事着手し、平成22年6月に完成しました。

平成22年7月現在 筒瀬地区、宇津地区、坪野地区、小原地区で完成、柳瀬地区、大前原地区、下殿河内地区等で工事を進めております。

### 平成17年台風14号

平成17年8月29日に発生した台風14号は9月にはいり、日本各地を広い暴風域を維持したまま、ゆっくりとした速度で進んだため、各地で甚大な被害をあたえました。中国地方では各地での床上浸水や、山陽自動車道の一部が崩落、厳島神社の浸水などの被害が発生しました。



太田川 堂見橋（安芸太田町）

これで安心して生活できるね!



# 豪雨をもたらした梅雨。そして、本格的な台風シーズンへ。警戒期間は続きます！

一部地域で浸水被害が発生！

## 平成22年7月梅雨前線豪雨

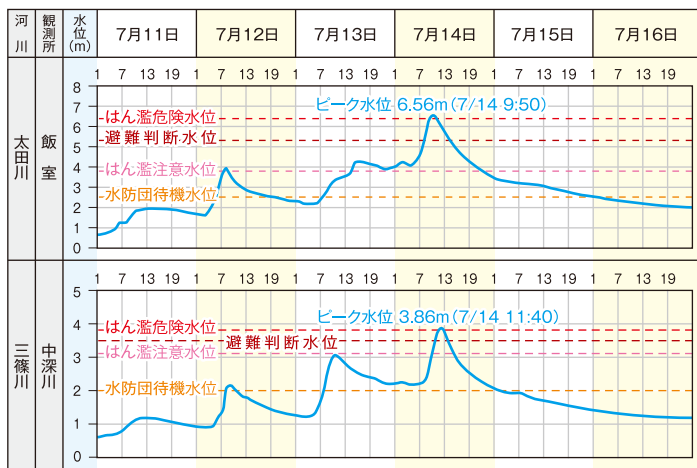
これからも大雨情報に注意しよう！



根谷川での水防活動

平成22年7月10日から15日にかけての梅雨前線に伴う豪雨により、広島市安佐北区可部町の根谷川に架かる吉田橋周辺地区では、川が堤防を越えてはん濫する危険性があったことから、太田川河川事務所が備蓄していた土のうによる水防活動を実施しました。

7月10日から15日にかけて、山陰沖から近畿地方を通じて東海地方にのびる梅雨前線に向かって、非常に湿った空気が流れ込み、前線の活動が活発化しました。  
1時間あたりの最大雨量は、鈴張（鈴張川）で48mm、松原（松原川）で43mm、加計（太田川・雄鹿原（大佐川）で42mm、大林（根谷川）で41mmでした。また、降り始めからの総雨量



は、鈴張（鈴張川）で50.6mm、七曲（西宗川）で47.1mm、筒賀（筒賀川）で45.8mm、加計（太田川）で44.1mm、大林（根谷川）で43.7mmを観測しました。  
この豪雨では、断続的に雨が降り、14日明け方の降雨により太田川本川の水位が上昇し、一部地域で浸水被害等が発生しました。

## 今後警戒が必要ですよ！ 8月、台風4号が接近

8月11日、台風4号が中国地方に接近したことから、太田川河川事務所は消防署などの防災機関とともに、増水や高潮に対する警戒体制をとりました。台風4号は11日21時頃、中国地方に最接近したものの、幸いにも雨や高潮による影響はありませんでした。

■台風4号のルート



出典:ウェザーニュース

台風が接近してきたら、進路・風雨情報をチェックせんといいけんね!



## 川と仲良くなろう!

# 「水辺の安全教室 in 太田川」で体験学習

8月25日、太田川河川事務所では、子どもたちが川遊びをする際の安全意識の向上を目的として、NPO法人「川に学ぶ体験活動協議会」の講師による「水辺の安全教室」を開催しました。

「水辺の安全教室」には、太田川流域の小学生14人が参加。午前中は筒賀児童センターで、川で遊ぶ楽しさ、川に潜む危険、ライフジャケットの身につけ方などについて学習しました。午後は実際に太田川（轟大橋下流付近）に入って、泳ぎ方、ペットボトルやスナック菓子の袋といった身近なものを使った人命救助などを体験しました。



川に入って、流れを体験!

### 参加した子どもたちの声

- ✓ 川には危険なところもあるけれど、そこに気をつければ楽しく遊べるのがわかった。
- ✓ 川で安全に遊ぶ方法がわかった。
- ✓ 危なくないように見えても結構流れがあって、泳ぐのが大変なことがわかった。
- ✓ ペットボトルやスナック菓子の袋など身近なもので助けることができるのがわかった。

河川環境をみんなで守ろう！

# クリーン太田川・小瀬川を実施



太田川での清掃風景

「クリーン太田川」「クリーン小瀬川」は、清らかな水の流れと緑に恵まれた河川環境を守っていくために、毎年7月の「河川愛護月間」に清掃活動を行っているものです。今年7月18日に実施しました。

前日には梅雨が明け、夏晴れのなか実施。「クリーン太田川」では太田川流域4市3町から約22,000人、「クリーン小瀬川」では小瀬川流域2市1町の自治会や漁協関係者の方々約1,600人にご参加いただき、河川敷に散乱する空き缶やビニール袋などのゴミを拾い集めました。

作業終了後、岩国市小瀬川地区の自治会長さんのお話では、ゴミは年々少なくなっているものの、自動車の古タイヤやバッテリーなどがよそから持ち込まれて投棄されるといった残念な状況もみられるとのことでした。



小瀬川での清掃風景



太田川と小瀬川の水質を守るために

# 連絡協議会の幹事会を開催



太田川水質汚濁防止連絡協議会の幹事会

太田川と小瀬川の水質の実態の把握、汚濁機構の究明を行うとともに、水質事故発生時の連絡体制、水質監視体制、水質保全対策の推進など河川の水質問題を全般について関係者の連携の緊密化を図ることを目的として、7月1日に太田川水質汚濁防止連絡協議会、7月7日に小瀬川水質保全連絡協議会の幹事会を開催しました。

各幹事会では、協議会の規約と水質事故汚濁対策マニュアルの改正、平成22年度の緊急時連絡体制の確認を行い平成21年



水質事故対策訓練の様子

と平成22年6月までの水質事故の発生状況が報告されました。水質事故の通報件数は、平成21年が太田川水系で41件、小瀬川水系で1件、平成22年6月までが太田川水系で18件、小瀬川水系で2件でした。原因物質は油が一番多く、次に濁水でした。

また、水質事故対策訓練を太田川と小瀬川において1年交替で実施しており、今年太田川水系根谷川で8月25日に実施しました。

おめでとうございます!!  
平成22年度  
国土交通功労者を表彰

太田川河川事務所では、毎年7月に、前年度完成した工事・業務のうち、技術力や品質、取り組み姿勢などが優れ、他の模範となる優秀な成績・成果を挙げられた方々を国土交通功労者として表彰しています。今年7月20日に、2団体と技術者1名の方々が表彰されました。

表彰式では、阿部事務所長が受賞された方々に表彰状を手渡し、「業界をリードする団体、建設技術者として、今後とも技術の向上、社会の発展にご尽力いただきますようお願い申し上げます」と挨拶。受賞者を代表して、錦建設株式会社 取締役社長 迫谷富三様が、「今後も、良質な社会資本整備を提供するため、さらに研鑽を重ね、ご期待に添うよう励みます」と述べられました。

平成22年度  
国土交通功労者表彰 (敬称略)

■ 優良工事施工団体表彰

天満川観音高潮堤防工事  
錦建設(株)

■ 優良業務請負団体表彰

東原上流地区用地調査等業務  
(株)エイト日本技術開発

■ 優秀建設技術者表彰

東原上流地区用地調査等業務  
(株)エイト日本技術開発 村上 正彦

水辺から、平和の願いを込めて

この夏、原爆ドーム周辺の元安川で開催されたさまざまなイベントを紹介します。

7/12 川底から「ドーム」を救え!  
石片発掘プロジェクト



被爆時の衝撃で崩れ落ちた旧広島県産業奨励館(現原爆ドーム)のバルコニーの一部とみられる御影石4本が、本川小学校6年生によって原爆ドーム前の元安川から引き上げられました。御影石は広島県立美術館で8月5日から9月20日まで開催された被爆65年企画「広島から広島 ドームが見つめ続けた街」で展示されました。



7/28 ヴラダン・コチ氏による  
鎮魂コンサート

元安川の原爆ドーム対岸の親水テラスで、チェコスロバキア出身の“祈りのチェリスト”ヴラダン・コチ氏によるコンサートが開かれました。



8/5 水面上映会

原爆ドーム前の元安川の水面に、被爆前のドーム(旧広島県産業奨励館)の姿が映し出されました。



8/6 灯籠流し

原爆や戦争の犠牲者を追悼し、原爆ドーム前を流れる元安川に、平和を願うメッセージなどが書かれた約8,000個の灯籠が流されました。



広島西部山系 植生図鑑

その6

種名 ハリエンジュ

科名 マメ

タイプ 落葉高木



開花と実のなる時期 花 実 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12

ニセアカシアとも呼ばれます。前号で紹介したクズは、緑化用として北米に移入され、その繁殖力から厄介者扱いされていますが、このハリエンジュはちょうど逆の立場です。砂防用に北米から輸入・植栽されましたが、生態系に悪影響を及ぼすとして、環境省の「要注意外来生物」に指定されました。高さ15~25mの落葉高木です。葉は複葉で互生し鋸歯(きよし)※はありません。また、樹皮は淡褐色で縦の深い割れ目が目立ち、枝にはトゲがあります。  
※葉のふちにあるギザギザのこと。

ホームページに「広島西部山系植生図鑑」を掲載しています。

太田川河川事務所

検索

